

新 体 操

- | | |
|-------|---|
| 1 期 日 | 7月26日 女子 11:00 監督会議 12:00 競技開始
7月27日 男子 9:00 監督会議 10:30 競技開始 |
| 2 会 場 | 大分市南大分体育館 |
- 3 参加制限
- (1) 学校単位で編成された郡市代表男女各3チーム、個人4名以内とする。但し、同一校1チームのみとする。 当分の間、男女各3チーム以内の出場を認める。
 - (2) チームは、監督1名、コーチ1名、選手男子6名、補欠2名以内、女子5名、補欠3名以内とする。
 - (3) 個人は、各学校監督1名・選手1名につきコーチ1名以内とする。
 - (4) 参加選手は、団体選手権と個人選手権の競技種目を兼ねることができる。
 - (5) 種目別選手権は、個人選手権参加者で行う。
 - (6) 体操競技にまたがって参加することはできない。
 - (7) 監督・コーチは、出場校の教職員とし、教職員以外のコーチは校長が認めた者とする。(但し、県中体連に登録していること。)
- 4 競技種目
及び
競技方法
- (1) 団体選手権
 - ①男女とも、郡市代表による学校対抗とする。
 - ②男子は、団体徒手とし、演技時間は、2分45秒～3分00秒とする。
 - ③女子の手具は、「クラブ」とし、演技時間は、2分15秒～2分30秒とする。
 - ④実施・構成の合計点により順位を決定する。
 - (2) 個人選手権
 - ①男子は、リング・ロープの2種目の自由演技とする。
 - ②女子は、フープ・ボールの2種目の自由演技とする。
 - ③男子の演技時間は、1分15秒～1分30秒とする。
 - ④女子の演技時間は、1分15秒～1分30秒とする。
 - ⑤2種目の合計点により順位を決定する。
 - (3) 種目別選手権
男女とも、上記各種目の得点が上位の者より順位を決定する。
- 5 競技規則
- (1) 男子は日本体操協会制定新体操競技規則2016年版および2016年8月九州新体操男子申し合わせ事項を適用する。
 - (2) 女子は日本体操協会制定新体操競技規則2017年～2020年版（ジュニアルール）実施。ただし、申告書4部を7月24日12:00必着とする。(提出先 南大分中学校 大渡寿美代まで)
 - (3) 男子はチーム得点が同点の場合には、構成の上位チームを上位とし、実施・構成共に、同得点の場合は同順位とする。
 - (4) 男子は個人の同得点は、同順位とする。(種目別の同得点も同順位)
 - (5) 男女とも伴奏曲は、MD・CD・USBとする。尚、各自デッキを持参すること。
- 6 備 考
- (1) 大会参加にあたっては、郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。
 - (2) 選手は、それぞれの学校を示すマークをユニホームにつけて出場する。(マークの大きさは、3cm×3cm以上とする。)
 - (3) 審判は、体操協会審判員・各郡市中学校教師が行う。(引率教員を含む)
 - (4) 男女共、団体は上位2チーム、個人は上位2名に九州大会出場資格を与える。
 - ①男子は団体同得点の場合は、「5の(3)」を適用し、実施・構成共に同得点の場合は、代表5名による抽選とする。
 - ②男子は個人同得点の場合は、高得点を有する者を選出する。それでも同得点の場合は、構成の得点が高いものを選出する。

体 操 競 技

1 期 日	7月27・28日	27日 9:00 監督会議	10:30 競技開始(規定演技・男子のみ)
2 会 場	大分市南大分体育館	28日	10:30 競技開始(自由演技・男女)

- 3 参加制限 (1) 学校単位で編成された郡市代表男女各3チーム、個人4名以内とする。
但し、同一校1チームのみとし、補欠と個人は兼ねることはできない。
(2) チームは、監督1名、コーチ1名、選手4名、補欠2名以内とする。
(3) 個人は、各学校監督1名・選手1名につきコーチ1名以内とする。
(4) 参加選手は、団体選手権と個人選手権・種目別選手権の競技種目を兼ねることができる。
(5) 新体操にまたがって参加することはできない。
(6) 監督・コーチは、出場校の教職員とし、教職員以外のコーチは校長が認めた者とする。
(但し、県中体連に登録していること。)
- 4 競技種目
及び
競技方法 (1) 団体選手権
① 男女共、郡市代表による学校対抗とする。
② 男子は、同一校4名の床・鉄棒・跳馬の3種目ベスト3の規定・自由演技の合計点により順位を決定する。
③ 女子は、同一校4名の床・平均台・跳馬の3種目ベスト3の自由演技の合計点により順位を決定する。
(2) 個人選手権
男子は、上記3種目に「あん馬」を加えた4種目の規定・自由演技の合計点により順位を決定する。女子は、上記3種目に「段違い平行棒」を加えた4種目の自由演技の合計点により順位を決定する。
(3) 種目別選手権
男子は、各種目の規定・自由演技の合計点により順位を決定する。女子は、自由演技により順位を決定する。
- 5 競技規則 (1) 規定演技
男子は、平成16年8月日本体操協会制定のものとする。(平成17年度～)
(2) 競技規則
① 日本体操協会制定男子採点規則2017年版中学校男子適用規則を適用する。
② 日本体操協会制定女子採点規則2017年版変更規則を適用する。
③ 跳馬の試技数について
○男子は、規定は2助走・2跳躍とし、自由演技は2助走・1跳躍とする。
○女子は、自由が3助走2跳躍とする。
④ チーム得点が同点の場合は、自由の上位チームを上位とし、尚同点の場合は、4人目の得点を合計して決定する。
⑤ 個人及び種目別の同得点は、同順位とする。
⑥ 女子「床」の伴奏曲は、MD、CDによるものとする。尚、各自デッキを持参のこと。
- 6 備 考 (1) 大会参加にあたっては、郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。
(2) 背番号は男子黒書、女子赤書で、縦10cm横15cmを背面につける。
中体連学校指定番号とする。
(3) 選手は、それぞれの学校を示すマークをユニホームにつけて出場する。
(マークの大きさは自由とするが、役員・審判員が見て判断できる大きさとする)
(4) 審判は、体操協会審判員、各郡市中学校教師が行う。(引率教員を含む)
(5) 男女共、団体は上位2校、個人は団体出場者を除いた上位4名(同一校2名まで)に九州大会出場資格を与える。ただし、団体出場校が満たない場合は、団体1チームにつき個人4名まで追加できる。
① 団体同得点の場合は「5—(2)—④」を適用する。
② 個人同得点の場合は、自由の上位を選出する。それでも同得点の場合は、自由演技の中で高得点を有する者を選出する。